



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

93.4.27 No.3784

## 自民党一党独裁を狙う小選挙区制

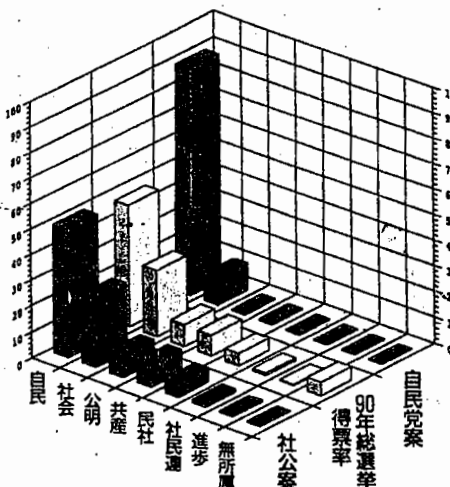


今国会最大の焦点である、「政治改革」関連法案(衆院への単純小選挙区制導入を軸とした自民党の政治改革関連四法案、小選挙区併用型比例代表制の導入を目指した社・公両党の政治改革関連六法案)の審議が、「改革実現」を強調するかたちで始まっている。

法案は、ロッキード・リクルート―佐川等々の政治腐敗・金権腐敗を、「政治倫理」「政治改革」の名の下にすり替えるものであり、自民党一党独裁のさらなる深度化と、党利党略のための「合意点」「接点」の模索が早々とのぼるなど、そこに「倫理」も「改革」のカケラも無いことは自明の理である。

自民党が提出している単純小選挙区制とは、現行の六人区までの中選挙区制(現行一二九選挙区)―総定

得票率と議席獲得率シミュレーション



90年総選挙の結果から試算(小林良彰教授算出)

表1

表2

92年参院選比例区の得票に基づく民間政治臨調案(小選挙区比例代表連用制)などの議席数シミュレーション

	自民	社会	公明	共産	民社	日新	スポ	二院	社民	進歩	合計
臨調案	283	93	63	24	9	24	2	2	0	—	500
自民案	456	19	17	0	0	8	0	0	0	—	500
社公案	200	99	77	42	23	42	11	12	3	—	509

	自民	社会	公明	共産	民社	社民	進歩	日新	合計
90年総選挙結果(参考)	286	139	46	16	14	4	1	6	512

(注)日新:日本新党、スポ:スポーツ平和党、二院:二院クラブ、社民:社民連進歩党は、92年参院選比例区に候補者を立てなかった

数五二二(一九増六減)により次回からは五一一)を、総定数五〇〇に区割りするとうものであり、これをそのまま九〇年の総選挙に当てはめると、自民党は過半数割れの四七・三%の得票率で、八九%の議席を獲得するなど、得票率と議席数に大幅な乖離が生じ、多大な死票が生まれるのだ。(別表1)

つまり単純小選挙区制は大政党自民党のための「選挙制度改革」に他ならないものであり、独裁制による改憲への道を策謀するものだ。

他方、社・公共同案の小選挙区併用型比例代表制は、比例選挙を全国一二ブロックで分割実施、小選挙区は全国に二〇〇設置し、総定数を五〇〇とするものである。得票率と議席数の一致、「民意の反映」という

点では単純小選挙区制の弊害を糾す面もあるが、労働者・人民と遊離している既成野党に、何の願望も付託できないことはあまりにも明らかだ。「政権交代の可能性」論議など、本来的な政治改革とは無縁なものと云わざるを得ない。

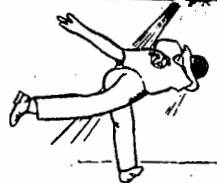
衆院政治改革特別委員会の論議では、「妥協点」「第三の案」が狙上りのぼるなどという中、経済・労働・言論界の「有識者」で構成する政治改革推進協議会(民間政治臨調)が、「政治改革緊急提言」として選挙制度改革を、この一七日に発表。次期総選挙からの実施を求めている。その骨子は、「小選挙区比例代表連用制」(総定数五〇〇議席(小選挙区三百、比例代表二百)の二票制、比例代表は都道府県単位の政党名簿に投票を柱としている。

この提言内容は、各党法案の折衷案的な性格を持つとともに、自民党・羽田派、公・民両党が支持方向、さらには「連合」・経団連が実現に積極姿勢を示すなど、「最後の接点」としての意味―政界再編の動きをも孕んでいる。

提唱された「連用制」では、現有議席を与野党ともほぼ維持できることから(別表2)、「双方の譲歩」を引き出し「有力な妥協案」として動きだしている。しかしながら、「議席数の確保」が先行し「妥協案」になることなど、本来的な政治改革とは程遠いことだ。

PKO法強行―派兵継続―改憲へと続くシナリオを断じて許してはならない。選挙制度改革の名の下の「支配体制」進行に断を!

サークル協主催



日時・5月8日(土) 正午7時

場所: アサヒホール (京成千葉中央駅) 歩いて1分

